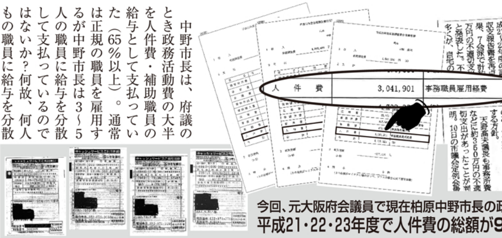
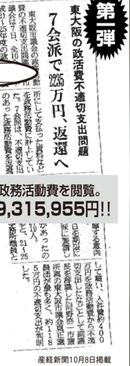
地方議員の政務活動費の悪用が後を絶たない！
騒がれてはいるが氷山の一角である。
中野市長の疑惑を追及!?

第二弾



今回、元大阪府会議員で現在柏原中野市長の政務活動費を閲覧。
平成21・22・23年度で人件費の総額が9,315,955円!!



東大阪の政活費不適切支出問題
7会派で2235万円、返還へ

産経新聞10月8日掲載

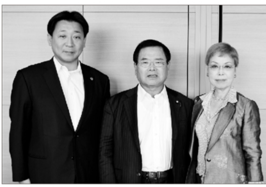
中野市長は、府議のとき政務活動費の大半を人件費・補助職員の給与として支払っていた（65％以上）。通常は正規の職員を雇用するが中野市長は3～5人の職員に給与を分散して支払っているのではないか？何故、何人もの職員に給与を分散して支払わなければならないのか？課税対象にならない額であり、政務活動費の使途が問われるのではないか？政務活動費を閲覧しても肝心な部分は「黒塗」で詳細が分からない。全てをオープンにすべきである。あらぬ疑いを起こさせると思う。

兵庫県の野々村氏は空出張や切手購入で政務活動費を不正に使用していたが、中野市長は人件費にすり変えて使用していたのではないか？公金に対する認識がなく、市長になってからも私有地の補修工事に600万円の専決処分を行っている。中野市長にとって政務活動費も600万円の専決も府民市民の公金だという意識が欠落しているのではないだろうか？

濱浦議員 衆議院議員 竹本直一氏の視察研修会に参加！

国土交通省（都市局長、総務課長、都市政策調査室長）近畿地方整備局（局長、課長）も参加された。

60階の展望台にて説明。視察を受け。近くであるが始めてである。驚いたのはエレベーターの速さと揺れのないことであった。日本の技術の素晴らしさ実感！



あべのハルカスにて岡田義信府議も参加

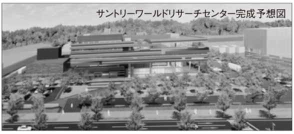
竹本代議士、国土交通省局長と

あべのハルカス展望台からの風景

けいはんな学研都市現地視察。全体展望、広大さに驚く、現在は25万人都市である。

サントリー ワールド リサーチセンターは現在工事中であった。（サプリメントの研究）

けいはんな学研都市



サントリーワールドリサーチセンター工事現場前で

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）を視察。
音声翻訳アプリ（VoiceTra4U）のソフトを開発。10ヶ国語に翻訳されるのである。
今回の視察で、日本の技術の素晴らしさ身近に感じた。
最後に、素晴らしい経験をさせていただき竹本先生ありがとうございました。

サンヒル柏原もはやこれまでか　市に家賃滞納6ヶ月、委託業者の支払い遅延

柏原市が社会保険庁から買い取った「サンヒル柏原」の赤字は以前と変わらず改善される気配が全くない。市に支払うべき家賃を半年滞納している上に、食事部門の委託業者に支払う委託料も遅延しているという。

「赤字なら税金で穴埋め」という安易さ

前市長はサンヒル柏原を「儲かる」と豪語していたが、赤字となると「市民サービスの施設だから」と逃げ腰になった。本当に利益が上がると考えて購入したとは思えない。市民サービスであれ、事業をするときは計画性のあるプランを立てるのが常識だ。

サンヒル柏原の幹部職員は前市長の縁故関係が多く、半官半民の「第三セクター」という方式は一部成功しているところもあるが、責任の所在がなく、失敗に終わることが多いのが実情だ。「サンヒル柏原」はまさにその典型的な例である。赤字なら税金を投入すればよいという考えでは、この厳しい国内情勢でやっていけるわけはない。

サンヒル柏原の幹部は、経営が赤字になっても「赤字だと倒産」という意識が全くないのにはあきれかえる。

これ以上、柏原市の財政を圧迫することがないように、サンヒル柏原は売却を検討する時期が来ている。